

# ライフワークの「街道歩き」をテーマに 専門古書店をオープン



日本のトライアスロン、ウルトラマラソン大会の初期より参加。皆生、宮古島のほかハワイやハンガリーの大会にも遠征。写真は—昨年のアメリカ大陸横断レースより—

元江戸川区職員

田中義巳さん (62歳)

平成23年3月定年退職

【たなかよし】昭和26年大分県生まれ。福井大学を卒業後、江戸川区役所に入庁。平成23年11月、旧東海道の品川宿に街道専門の古書店「街道文庫」をオープン。

「田中義巳のジャーニーランクラブ」

<http://www.interq.or.jp/world/tabi-run/>



——田中さんは定年退職後に街道専門の古書店「街道文庫」を始められたそうですが、どうして街道専門だったのですか。

「街道歩きをする人の手助けをしたい」と思ったのが一番の理由です。

私は33歳のときに、趣味だったウルトラマラソンのトレーニングのつもりで東海道を走ったことがきっかけで、街道歩きの魅力に取りつかれました。街道には名所や旧跡も多いですし、昔の道ですから今の地図と比べてわかりづらいところもあります。それで、いろいろ調べていくうちにはまっていったんですね。

その楽しさを他の人にも味わってもらいたいという思いで、20年ほど前から、街道を歩く会も主宰してきました。昼間、仲間たちと街道を歩いた後、夜は街道について情報交換をしながら理解を深めていくのですが、私は1回歩くのに関連本を20〜30冊読みます。そのため、街道にまつわる本を買い集めてきた結果、約4万冊にもなっていました。

——街道にまつわる本だけで、そんなにですか！

街道本と言っても、寺や花、道祖神など、執筆者の興味によつて着眼点が異なります。ここにある本は、街道沿いにある自治体などが発行している本が多く、メジャー書店では買えない本がほとんどです。地元の図書館に行けば見られるかもしれませんが、そうすると、あちこちに足を運ばなければな

らないですからね。

——それが、街道文庫に来れば一度に見られると。

そうですね。全国の街道の地図付本の大部分がそろっているので、来てもらえれば全国の街道歩きのためのマップ作りができます。ただ、中には売れない本もあります。あくまでも「街道歩き相談承り処」がメインの古書店ですから。

——店舗の広さはどのくらいですか。

売り場スペースは4坪で、トイレなどを含めると5・5坪あります。

——そのスペースにどれくらいの本が？

約1万2000冊です。

——だから、床から天井までびっしりなんでしょうね。

基本的には地域ごとの分類ですが、無駄なスペースをつくらないように本の大きさでまとめています。

——来客数は一日平均どのくらいですか？

店の奥まで入ってしっかり見ていく人は10人弱です。店先だけ見て帰っていく人も含めると、もつと増えるかな。街道を歩くために資料を探しに来る人が大半で、年齢層は定年前後が圧倒的に多いです。定年退職したら本格的に歩こうと計画されている方が結構いらつしやるようです。

——月にどのくらい売れるのですか。

100冊前後ですね。一般の古書店は売れそうな本を見つけてきて売りますが、街道文庫では「街道歩きをする人ならこうい

## ●1日のスケジュール

6:00	起床
10:00	出勤
11:00	「街道文庫」開店
19:00	「街道文庫」閉店
23:00	帰宅
24:00	就寝

旅人を優しく出迎えてくれるように行む「街道書店」。店先には一息つけるよう、椅子が備えられている



1万2000冊の本で隙間なく埋め尽くされた「街道書店」の店内。初期費用を抑えるため、書棚は格安インテリアショップで購入。「重みのせいで、多少の揺れではビクともしませんよ」と田中さん

う本を欲しがらるだろう」という基準で収集して売っています。

インターネットで探しても見つからなかった本がここには何冊もあったと言つて感謝されることもありますし、いつでも読めるよう売らずにいてほしいという要望も寄せられます。街道歩きに直接役立つ資料は2冊以上あるときしか売りませんから、ここにある

うちの3割は売らない本です。資料館的な要素が強い古書店なんです。

——そんなんですね。その街道文庫のオープンを決められたのはいつですか？

定年の半年前くらいです。それまでは定年後も再任用で働くつもりでいたのですが、定年直後にアメリカ横断マラソンが8年ぶりに開催されると知りましてね。この機会を逃すと二度と出られないと思つて出場を決意した時点で、「再任用」という選択肢がなくなりました。

どこかに勤めることも考えたのですが、いずれば街道専門の古書店をやりたいと思つていまして、だったら今のうちに始めてみようかと。アメリカ横断マラソンに出場後の9月から準備を始めて、わずか1カ月半でオープンしました。

——そんな短期間で、よくオープンできましたね。

私は一日考え始めるといつまでも決断できないタイプなので、オープン日を先に決めて、それに合わせてできる範囲の準備で開店しました。

——江東区亀戸にお住まいの田中さんが、どうして北品川という場所に開店されたのですか？

北品川は東海道の最初の宿場・品川宿があったところですから、そういう土地にあることで存在価値が増します。それに、地域も「品川宿」を生かしたまちづくりに熱心で、私もその一端を担いたいと思いました。街

づくり協議会がお休み処として使っていた建物を改装し、「街道文庫」にしたんですよ。

——開店資金はどのくらい掛かったのですか。

店舗の敷金や改装費、引っ越し代などを含めて約300万円です。すべて退職金で払いました。

——経営状況はいかがですか。

厳しいですね。収入は売上金と年金ですが、店舗の借家賃と水道光熱費、自宅の維持費、食費、交通費、通信費、書籍代、交際費などで、毎月20万円前後の赤字です。わずかな資産を食いつぶしながら、どこまでやっていけるか実験しているような状態です。

当初は年金がフルで受け取れるまでの5年間は持つてほしかったのですが、退職金は2年で見事になくなつてしまいました。退職金でローンの残額を返済した自宅マンションを売ることで、今後の運営資金に充てることになりそうです。

——そんなに大変なんですか！

「背水の陣」ですよ。だから、もう少し「街道文庫」の運営が安定したら本格的に始めるつもりだったネット販売をできるだけ早く始めようかと検討しているところです。ネット販売は需要と供給のバランスで値段がつくので、ここにしかない貴重本は高く売れる可能性が出てきます。

——でしたら、ネット販売に力を入れたほうが経営も安定するのでは？

さまざまな街道を歩く会を20年以上にわたり主宰してきた田中さん。  
そこで出会った仲間たちこそ、田中さんにとっての財産…かもしれない  
(写真上から) 東京・日本橋、静岡・下田街道、静岡・さった峠 にて



——そんなにギリギリの経済状況だと、不安じゃありませんか。

自分がやりたいことをまともにできるのもあと10年くらいでしょうし、その間にお金を使い果たしても、残りの期間は年金だけで何とか生きていけるんじゃないかなど。私は独身で家族をつくってきませんでしたので、最悪の場合、のたれ死にしても誰も困らないというくらいの気持ちです。

要は、不安に思うか、何とかなるだろうと思うかの差だけです。不安に思うことにすべて備えていたら大変なので、私は不安に思わないようにしています。ランク上の生活を望むなら、そうはいかないでしょうけど。——健康管理はどうされているのですか。

店を始める前は毎年欠かさず人間ドックを受けていましたが、オープンさせてからは一度も行っていないです。基本的に年中無休を目指しているので、受診のために休業し

たくなかったというのが理由ですかね。

店番やら資料整理やらで忙しく、ほとんど走ってすらいませんが、今でも走れと言われれば、毎日でもフルマラソンを走れるくらい体力には自信があります。

とは言っても、足腰の衰えは早いですからね。強制的に歩く機会をつくらうと「東海道完歩会」や「東京の街道を歩く会」を月に5〜6回開催しています。

私自身の健康維持もありますが、会を開くことで喜んでくださる方がいます。私自身がそうだったように、今はトリアスロンやウルトラマラソンに出場している連中も、いずれ街道歩きにシフトするかもしれませんし、街道を歩く会はずっと続けていきたいと思えます。

——最後に、現役の地方公務員の方にメッセージをお願いします。

定年後を充実させるためには、現役のうちから打ち込める趣味なりライフワークを持つておくことをお勧めします。

私が所属していた土木・建築系の職員OBの中には、資格と経験を生かして役所を定年後に民間会社で建築確認などの仕事をしている人も少なくありません。新しい職場での仕事を生きがいとしている人もいますが、私は人と100%違うことをしたかった。だから、あえて現役時代に資格は一切取りませんでした。定年後の生きがいは、人それぞれですよ。

——ありがとうございました。

そういうやり方もあるでしょうが、そうすると「街道歩き相談承り処」を設けた意味がなくなりますからね。ネット販売を始めると、店舗での直接販売は、今まで通りの価格設定で販売するつもりです。いづれにしても、赤字経営の場合、時間が経つほど資産はどんどん目減りしていくので、現状の赤字の上にさらなる赤字を覚悟して、次のことをやらなければならぬという意識があります。当面は店を安定させることをメインに、将来的には年金の範囲内で店を維持していければとは思っているんですけどね。少なくとも借家賃を年金で払えなければ、やっていけません。食べる分だけなら何とかかなりますから。